仙台市立郡山小学校

★学校紹介

校長
小崎　功二

郡山小学校の子供たちは、素直さと明るさ、礼儀正しさにあふれています。保護者や地域の皆様が長年努力を積み重ね、育ててきた校風だと思います。

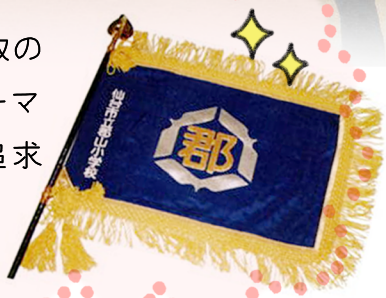
地元農家の方を講師とした本格的な農業体験活動（大豆作り・各種野菜の栽培・稲作等）や、水害の危険性が高い地域の実態に基づいた地域講師による、防災マップ作り等、学習活動も、保護者や地域の皆様に支えられています。

PTAおやじの会を中心として実施しているバザーや、土曜日の児童の活動の場としての「土曜プログラム」の実施など、これまで地域の教育力を取り入れながら双方向の関係を築いてきた学校であり、仙台市教育委員会が学校教育の土台となる方針として掲げている「地域と共に歩む学校」という理念を、いち早く具現化してきた学校だと自負しています。

コロナ禍で様々な制限のある中ではありますが、今後とも保護者や地域の皆様と手を携えて、大切な子供たちのために、この伝統を守り育てていきたいと思っています。

★シンボル紹介

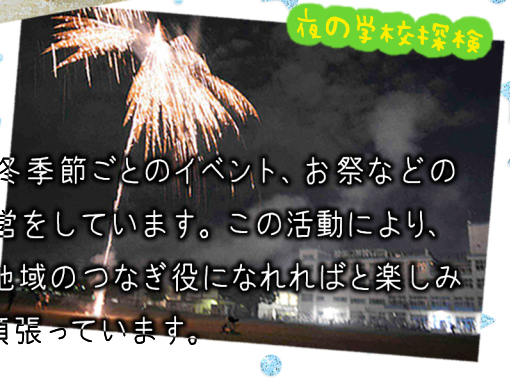
郡山小学校の校章の「郡」を守って飛ぶ３つのフォルムは広瀬・名取の両清流と４号線仙台バイパスに囲まれた学区戸「知・徳・体」のテーマを象徴化しています。調和がとれた心豊かな子供「真・善・美」を追求し続ける人間に成長してほしいという願いが込められています。



★PTA主宰行事（おやじの会）

PTA会長
阿部　祐也

PTA主宰行事として、同じ地域に住むお父さんたちが子供達と共に遊び、会員相互の懇親を楽しむ事を目的としたおやじの会の活動にも力を入れています。



春夏秋冬季節ごとのイベント、お祭などの企画運営をしています。この活動により、学校も地域のつなぎ役になれればと楽しみながら頑張っています。